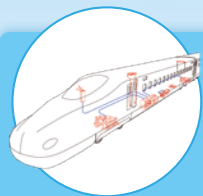


「うごかす、とめる。」で くらしを支える、ナブテスコ

ナブテスコは、さまざまな分野で、くらしに役立つ製品をつくっている会社です。「うごかす、とめる。」を必要とする“動くモノ”にとって重要な部分をつくり、みなさんの安全・安心、そして快適なくらしを支えています。ナブテスコの製品は、みなさんが目にすることは少ないけれど、みなさんの身近なところで、知っているモノに関わっているのです。



新幹線などの電車

ブレーキ制御装置やドアの開閉装置、スピードを維持したままカーブを曲がるために車体を傾ける装置。



駅のホームドア
乗客の安全を守るホームドア。

食品や洗剤

レトルト食品や、洗剤など液状のものを袋に密封する機械。

自動ドア

コンビニやビルの自動ドア。このマークが目印



convenience store

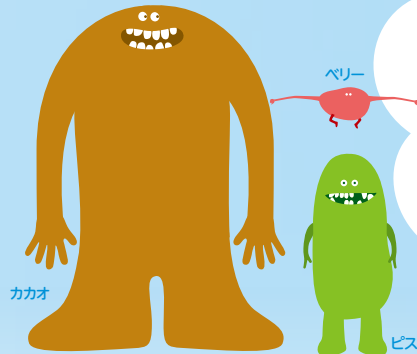
人やモノの移動



日常生活と福祉



ナブテスコキャラクターズ

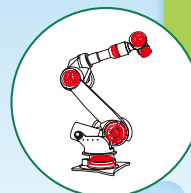


たとえば、飛行機のフライトコントロールにも
たとえば、産業用ロボットの関節や、タンカーのエンジンにも
たとえば、電車のブレーキやドア、駅のホームドアにも
いろんなところで、ナブテスコの技術は生きています。
知らないところで、知っている、ナブテスコ。

ナブテスコ株式会社 <https://www.nabtesco.com/>

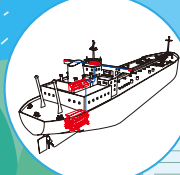


ロボット



正確で細かい動きが必要な産業用ロボットの関節。

タンカーや大きい船



操舵室から遠く離れたエンジンをコントロールする装置。
・船を操縦する場所

トラックやバス

空気圧ブレーキを採用している車両のブレーキ装置。



福祉製品

電子制御された義足。



モノづくり まちづくり



生活用品の生産



ナブテスコの製品は
縁の下で力持ち。
見えないけれども
いろんなところで活躍
しているんじゃ。



環境にも人にも貢献する船を「うごかす、とめる。」

船は他の輸送手段と比べて、少ないCO₂排出量でたくさんの人や荷物を一度に運ぶことができるので、環境にやさしい乗り物といわれています。地球温暖化が進む中、ナブテスコはもっと環境にやさしい船をつくるための研究開発に力を入れています。

船を通じて社会課題に取り組むナブテスコ

毎日、世界中でたくさんのモノが輸送されていますが、その約90%が「船」で運ばれていることを知っていますか？ 船は、他の輸送手段と比べてエコではあるものの、運ばれるモノの量が多いため、船の数は多く、世界全体で見るとCO₂の排出量を減らすことは大きな課題となっています。さらに、たくさんのモノを運ぶためには、働く人もたくさん必要です。近年、船員の高齢化や、船員が足りないことが問題になっているため、一人あたりの負担をどれだけ減らせるかも課題になっています。

ナブテスコはこれらの課題を解決するために、これまで培ってきた技術をベースに、さまざまな挑戦をしています。

代表的な技術① 主機遠隔操縦装置

操舵室*などエンジンから離れた場所からエンジンをコントロールしたり、船の状態を監視したりすることで、安全・安心な運航に貢献しています。

*船を操縦する場所



代表的な技術② 電子制御油圧バルブ

エンジンへ燃料を入れるタイミングや量を細かく調整することで、燃料のムダ遣いをなくしNOx（窒素酸化物）*の低減にも役立ちます。

*石油などが高い温度で燃えたときに空気中や燃料中の窒素からできる、一酸化窒素や二酸化窒素などのこと。地球温暖化の原因になる。

風の力で動く船！？

船上に風を受ける筒の形をした風車を立て、風力を使って船を動かす開発をしています。風をおもな動力とすることでCO₂排出量を大きく抑えることができます。



画像：風車帆船(NEDO助成事業)

高い技術力とAIのサポートで、省エネ・省力運航を実現

環境にやさしく、効率的な船の運航を実現させるには、天候や海の流れ、他の船の位置など、さまざまな情報をより早く、正確に集めることが重要です。ナブテスコは、それらの情報を収集・活用し将来の無人運航船に向けた技術開発を進めています。

無人運航船のしくみ！



この技術によって効率的な運航が実現し、使用する燃料が減ることで環境負荷を少なくすることができます。ナブテスコが長い時間をかけて磨いた技術に、AIのサポートが加わることで、社会課題の解決を進めています。



今日からきみも船博士！

数字で学ぶ大型コンテナ船

大型コンテナ船は、工業製品から食糧・衣類などの日用品まで幅広い物資の輸送に貢献しています。

1トンのものを1km運んだ場合に出るCO₂の量

43

グラム ショートトン g-CO₂/トンkm

営業用貨物車(トラックなど)の約1/5だよ！

乗組員の人数

約24人

日本の貿易量における海上輸送の割合

99.6%

※この数値は大型コンテナ船以外の船も含まれています

一度に運べる荷物の量 アフリカゾウ

約37,500頭ぶん

(22万5,219トン)

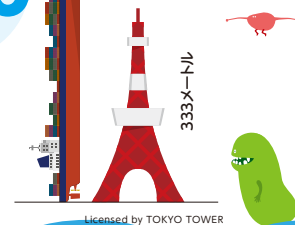
オスのアフリカゾウ1頭=約6トン

世界最大級のコンテナ船の長さ

約400メートル

船を立ててみると東京タワーより高くなるね

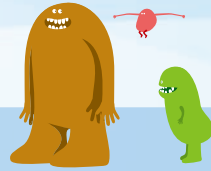
333メートル



Licensed by TOKYO TOWER

環境にやさしいナブテスコ

ナブテスコは、地球環境にやさしい製品をつくるだけでなく、製品をつくるときも環境への負担を少なくすることに努めています。



環境を考えたモノづくり

製品の開発から販売したあとのサポートまで、「環境にやさしい」に取り組んでいます。

研究・開発する

原材料や使用する電力などが削減できる、環境にやさしいあたらしい技術や製品を開発するために日々研究しています。



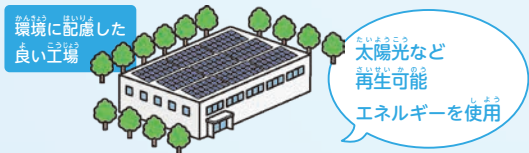
仕入れる

環境にやさしい素材や方法でつくられた材料や部品を仕入れるなど、部品をつくる会社とも協力して、環境問題の改善・解決に向けて取り組んでいます。



つくる

製品をつくる工場では、電気を使って多くの機械を動かしています。CO₂排出量が少なくなるように、工場にもさまざまな環境技術を取り入れています。



売る・運ぶ

製品を効率よく運ぶことでエネルギー使用量やCO₂排出量が少なくなるように、荷物の積み方など、さまざまな工夫をしています。



使う・管理する

製品を長く安全に使えるよう点検・修理を行っています。今後はセンサーやデータを活用して製品の故障を予測し、未然に防ぐシステムを上げていきます。

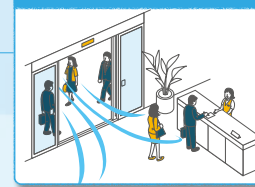


環境にやさしい製品

自動ドア

NABCOブランドで展開するナブテスコの自動ドアは、国内市場シェアNO.1。そのナブテスコが開発したのが、人の動きを読み取り、自動ドアの前を横切る人には反応せず、自動ドアに向かってくる人だけに開く自動ドア『NATRUS+e W』です。

たとえば寒い冬……



人が横切るたびにドアが開閉すると、外の冷たい空気が入ってくるので、暖房であたたかい建物内の室温が下がり、暖房の消費電力が増えてしまいます

「NATRUS+e W」だったら……



ムダな開閉がなくなり、暖房の消費電力を減らすことができます

NATRUS+e W についてもっと知ろう [ここをチェック!](https://nabco.nabtesco.com/nabco-select/natrus_ew/)



食品・洗剤の包材



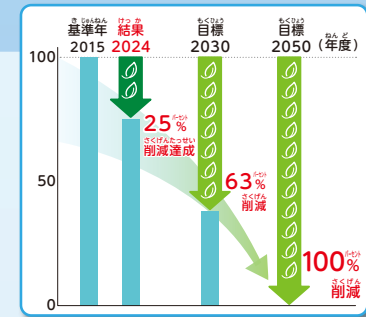
日本初のレトルトカレーはナブテスコのグループ会社の機械で袋詰めされたんだって!



手軽で簡単、災害時にも役立つレトルト食品。以前は缶詰が主流でしたが、ナブテスコのグループ会社がつくった機械により、袋詰めの商品が増えてきました。軽量、コンパクトなので輸送時のCO₂を削減でき、エコな袋として海外からも注目されています。

CO₂排出量削減の取り組み

2021年7月、ナブテスコはCO₂排出量削減の目標(2015年度と比べ、2030年度は63%、2050年度は100%削減)を立てました。省エネルギーや創エネルギー(自分たちでエネルギーをつくり出していくこと)、再生可能エネルギーなど発電のときにCO₂を排出しない環境にやさしいエネルギーでつくられた電力を調達することで、目標達成をめざします。



eCO コンセプト

高い技術が社会に貢献する

モノを動かす技術で、社会に安全・安心・快適を提供しているナブテスコは、正確に動かす技術や、壊れにくい部品をつくる技術で、省エネや地球環境を守ることに関献したいと考えています。